

## 雑誌論文・新聞記事のさがし方

ある事柄について調べたいが、  
単行本には見つからない  
雑誌にはないだろうか  
ある人がどんな論文を書いているか  
探している特定の論文が、どの雑誌に載っているか  
ある事件についての新聞記事を探したい

最も新しい情報は逐次刊行物（新聞・雑誌・その他、定期・不定期に継続的に出版される資料）に現れます。学術的な一冊の単行本は出来上がる前に、雑誌に部分的に発表される場合が多いと言えます。レポートを書く場合、単行本のみを求めていると、テーマ主題に合致した本を見出せない場合があります。その時は、雑誌の存在を思い出して下さい。

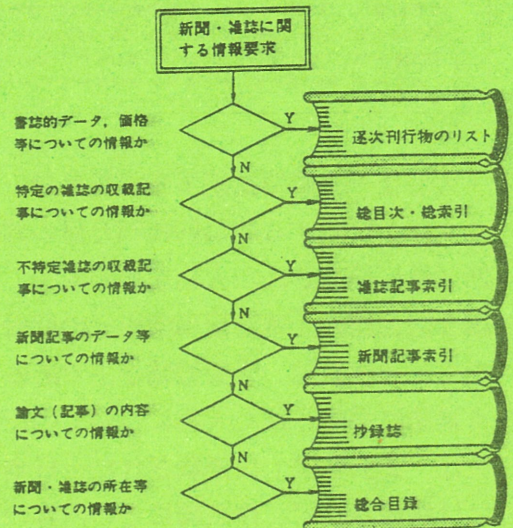
雑誌や新聞の論文・記事を探す時には、記事索引や抄録誌が役に立ちます。また、その使い方を知っていると能率的にそれを見つけることができます。

次に、教養部図書館に所蔵するものを中心に紹介します。

### 雑誌記事索引

『雑誌記事索引』 国立国会図書館編  
1948-

学術雑誌や紀要などを中心に、約3000誌の論文・記事を分類排列して、収録しています。「人文・社会編」「科学技術編」から成り、著者索引・件名（人名・団体名）索引・収録雑誌一覧表が付されています。科学技術編には、特定用語（件名）から、該当する分類項目へ誘導する件名参照索引があり、「人文・社会編」には、累積版が別に刊行されています。



『雑誌記事索引 人文・社会編 累積版』

分野別に11編刊行されていて、著者名・件名から検索できる索引があり、各分類の後には、書誌が掲載されています。また別に、累積版をもとに、昭和 27-49年の27年間に発表された論文・記事を雑誌文献目録シリーズとして主題別に12編に再編して、分冊発行しています。索引は件名と著者名。

\*例題

レポートのテーマ「チェスタートンについて」を調べる場合

①雑誌記事索引 人文・社会編 累積索引版、件名編中の人名索引部の「チェスタートン」を引く。

累積索引版 件名索引編 1965-74年版 285頁 「チ」の項「チェスタートン」

見出し語	分類名	編名	①は1970-74年版 ②は1965-69年版を示す	掲載頁
チェスタートン, G. K.	→欧米文学<英米文学>	文①371	文②330	

②ゴシックで示されている 330頁を本編で検索すると、求める主題についての論文を見出すことができます。

雑誌記事索引 人文・社会編 累積索引版 1965-69 シリ-XX 文学・語学 330頁 「チェスタートン」

見出し	著者名	論文名	誌名	巻数(号数)	発行年月	掲載頁
チェスタートン, 中野記偉	G. K.	ブラウン神父の魅力: 世紀	197(66.10)	p74~80		
中野記偉	G. K.	チェスタートの文体—その「並立の逆説」について:	英文学と英語学	3(67.1)	p81~96	
中野記偉		アメリカ文学とG. K. チェスタートン—ポウの受容を中心に—:	英語青年	113(11)	(67.11)	p20~21, 41
中野記偉	G. K.	チェスタートの文芸評伝:	英文学と英語学	5(69.3)	p99~128	
中野記偉	G. K.	チェスタートン受容史—比較文学的視座からの概観:	ソフィア	18(1)	(69.6)	p38~59
前田隆一郎		The Man Who was Thursday についての一考察:	熊本商大論集	21(65.9)		
前田隆一郎		The Innocence of Father Brown の研究:	熊本商大論集	23(66.9)	p185~196	
ミルワード, P.	G. K.	チェスタートのユーモア—「正統思想」をめぐって(中野記偉訳):	ソフィア	16(1)	(67.4)	p48~59

『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』 人名編・件名編・総索引 全13巻

文庫が所蔵する約6500種24万冊の雑誌のうち、明治から1984年 4月までの凡そ2000種に掲載された人物記事の索引です。大宅文庫に所蔵する雑誌は、先にあげた国会図書館の「雑誌記事索引」の収録対象誌とは異なってアカデミックなものは少なく、通俗雑誌、大衆雑誌が主であることが特徴です。人名索引は著者索引ではなく雑誌に掲載された人物についての記事を、人物名の項目に分類した索引です。例えば「文芸春秋」に連載された「日本の黒い霧」は、著者“松本清張”は人名索引には採録されず、件名編にその内容の事件名“下山事件・もく星号事件・帝銀事件”として出てきます。

## 新聞記事索引

『新聞集成明治編年史』 1934-36 15冊

文久2年から明治45年までの間に発行された新聞200種以上から、重要記事を選録。各巻に編年目次、分類総目次があり、15巻に50音順索引があります。「昭和編年史」「大正編年史」も刊行中ですが、教養部は所蔵していません。

『明治ニュース事典』 慶応4-明治10年(1868-1912) 9冊、『大正ニュース事典』

大正元年-15年 全8巻 続刊中 毎日コミュニケーションズ発行

排列：見出し語の50音順、索引：50音順の一般索引・分類別・年次別

『新聞集録大正史』 全15巻 大正出版 昭和53

大正年間に発行された全国の新聞から、史料価値の高い記事を抜粋し、編年体にて整理・編集したもの。索引：事項別分類、人名の50音順

『毎日ニュース事典』 1973-80年版 毎日新聞社 (1980年版で中止)

毎日新聞(東京)の最終版に掲載のニュースと関連記事の抄録。排列は見出し語の50音順 付：人名索引

『新聞集成昭和史の証言』 全20巻 本邦書籍 1983-87

昭和50余年間の日日の動きを全国三百余の新聞から抜粋し、編年形式に編纂したもの。20巻は索引(事件・項目の50音順)

『朝日新聞記事総覧』 大正8年7月-昭和42年(1985-87) 20冊、人名索引 4冊

「朝日新聞縮刷版」の各月の「記事索引」を集成したもの

各専門主題の記事索引・抄録については次回以降に紹介します。

### ◆ お知らせ ◆

**昼休みも開架図書・語学テープの利用ができます！**

5月より講義のある日(土曜日を除く)の12時~1時カウンターを開けています。(今年度中試行) ただし、開架図書の閲覧、貸出と語学テープの貸出、返却に限ります。

## 朝永振一郎「量子力学的世界像」 (朝永振一郎著作集 第8巻)

物理学は我々が住んでいる自然界のからくりを出来るだけ基本の所から明らかにしようとしてきた。この試みがどこまで成功するかは予測できない。例えば、物理学が対象とするエネルギーの値はどんどんと高くなっていく。しかし、自然界で観測し得るエネルギーには上限があるから、非常に高いエネルギーの状態を対象とした理論は直接にそれ自身の当否を判定する方法を持ち得ない。自然科学はニュートンの時代に始まったわけであるが、物理学の一部は、このようにして、ニュートン以前、すなわち、自然哲学にかえり結局、自然は本当の姿を巧妙に隠してしまうのかもしれない。

前口上はこのくらいにして、いままでに物理学が明らかにしてきた自然界のからくりを見てみると、我々の日常的な経験則に反することが多い。そして、その不思議さと巧妙さには驚かされる。易しい例で言えば、物理学の歴史の出発点となった慣性法則がすでに我々の経験に反している。このあたりから書き起こした名著としては、アインシュタインとインフェルトの「物理学はいかに創られたか」(岩波新書)がある。しかし、ここでは、物理学のおもしろさを知りたいと言う人に勧めてみたい本として、少し古いが、朝永振一郎「量子力学的世界像」を取り上げる。特に、「光子の裁判」の章はよく出来ている。そこには、量子力学に支配された粒子達の振舞いが描かれていて、読者に奇妙な世界を覗き見させてくれる。その奇妙さはSF作家の想像力を遥かに超えていると言えるだろう。このような粒子達の集まりが、実は、我々の住んでいる現実の世界なのである。

考えてみると、人間が量子力学を手に入れたことは必然であろうが、それによって引き起こされた自然科学全体に及ぶ革命は、科学技術の爆発的な進展をもたらし、歴史的には一瞬ともいふべき短期間に、人類を滅亡の危機に追い込んでしまったようにも見える。となると、量子力学はパンドラの箱であったのか。なお、量子力学は、自然科学以外にも、認識論などに衝撃を与えた。量子力学は哲学の対象でもある。

(物理学 越野茂美)

### 教養部図書館の所蔵紹介

『朝永振一郎著作集 8』	みすず書房	1982	[開架 020/954]
『量子力学的世界像』	弘文堂	1965	[書庫 620/1190]
『 』	アテネ新書	1949	[書庫 010/80]